



FILE No.9

九州の「地域ブランド」をご紹介します。



鹿児島 しろくま

コンビニのアイスボックスにある氷菓「しろくま」はメーカーによって異なりますが、そのルーツは鹿児島県にあります。1930年代に綿屋が夏の副業として練乳をかけたかき氷を売り始め、1947年喫茶店「おじゃき」がフルーツやみつ豆などで飾り付けた「しろくま」が評判を呼びました。その後、鹿児島県市内では多くの飲食店で独自の「しろくま」が出現しました。今や鹿児島県のソウルフードとなっています。

地域と
共生する
FFG

